

2021年3月期 第2四半期 決算補足資料

2020年11月5日

京阪ホールディングス株式会社

(東証1部 9045 <https://www.keihan-holdings.co.jp/>)

◆見通しに関する注意事項◆

業績予想及び将来の予測等に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としています。

実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2021年3月期 第2四半期

決算の概要

連結損益計算書

- 新型コロナウイルス感染症拡大によるインバウンド需要の減少や国内における外出自粛の影響による大幅な減収に加え、不動産における前年同期のマンション販売の反動減などにより減収。また、各段階の利益においても大幅に悪化し、第2四半期決算としては過去最低。

(単位：百万円)

	2021/3 2Q実績	2020/3 2Q実績	増減	増減要因
営業収益	108,232	165,209	△56,976 (△34.5%)	※新型コロナウイルスの影響△445億円
営業利益	△5,854	21,969	△27,823 (-)	※新型コロナウイルスの影響△278億円
営業外収益	1,735	1,091	643	
営業外費用	1,856	1,625	231	
経常利益	△5,975	21,435	△27,411 (-)	
特別利益	2,524	2,455	69	投資有価証券売却益+1,310、 受取補償金△1,093
特別損失	1,085	1,166	△80	固定資産圧縮損△821、固定資産除却損△192、 新型コロナウイルス感染症による損失+947
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△6,320	15,154	△21,475 (-)	
減価償却費	10,252	10,035	216	
E B I T D A	4,397	32,004	△27,606 (△86.3%)	※EBITDA：営業利益+減価償却費
受取利息及び配当金	350	580	△230	
支払利息	1,036	1,143	△106	
金融収支	△686	△562	△124	

セグメント情報

(単位：百万円)

		2021/3 2Q実績	2020/3 2Q実績	増減額	増減率
運 輸 業	営 業 収 益	30,497	48,709	△18,212	△37.4%
	営 業 利 益	△7,010	8,141	△15,152	—
不 動 産 業	営 業 収 益	43,880	58,663	△14,782	△25.2%
	営 業 利 益	8,190	10,248	△2,057	△20.1%
流 通 業	営 業 収 益	38,360	48,195	△9,834	△20.4%
	営 業 利 益	△24	1,579	△1,603	—
レジャー・サービス業	営 業 収 益	3,290	17,960	△14,669	△81.7%
	営 業 利 益	△6,222	1,788	△8,010	—
その他の事業	営 業 収 益	1,319	956	363	38.1%
	営 業 利 益	△763	△4	△758	—
全 社 ・ 消 去	営 業 収 益	△9,117	△9,275	158	—
	営 業 利 益	△25	216	△241	—

《影響の概要》

第1四半期は4月の緊急事態宣言発令により、当社グループの各事業は厳しい状況に陥りました。特に運輸業やレジャー・サービス業では、外出自粛に伴う利用者数減少の影響が非常に大きく、流通業では、政府や地方自治体の要請による店舗休業の影響を受けました。

第2四半期においても国内需要は徐々に回復しているものの、インバウンド需要は引き続き厳しい状況が続いており、経営成績は前年同期には及ばず、厳しい結果となりました。

《影響額》

	営業収益	営業利益	主な影響
運輸業	△187億円	△176億円	鉄道・バスの旅客数減少
不動産業	△3億円	△2億円	展示場・貸し会議室利用数の減少
流通業	△92億円	△16億円	商業施設の利用者数減少
レジャー・サービス業	△151億円	△77億円	ホテル・レジャー施設の利用者数減少
その他の事業	△10億円	△5億円	商業施設の利用者数減少
合計	△445億円	△278億円	

《休業施設等の固定費の会計処理》

緊急事態宣言発令期間中の休業施設等に係る固定費（人件費、賃借料、減価償却費など）**947百万円**を「新型コロナウイルス感染症による損失」として特別損失に計上しました。

影響を受けた主な事業の状況

《鉄道事業（京阪電気鉄道） 旅客数対前年比》



《百貨店業（京阪百貨店） 営業収益対前年比》



《ホテル事業 客室稼働率》

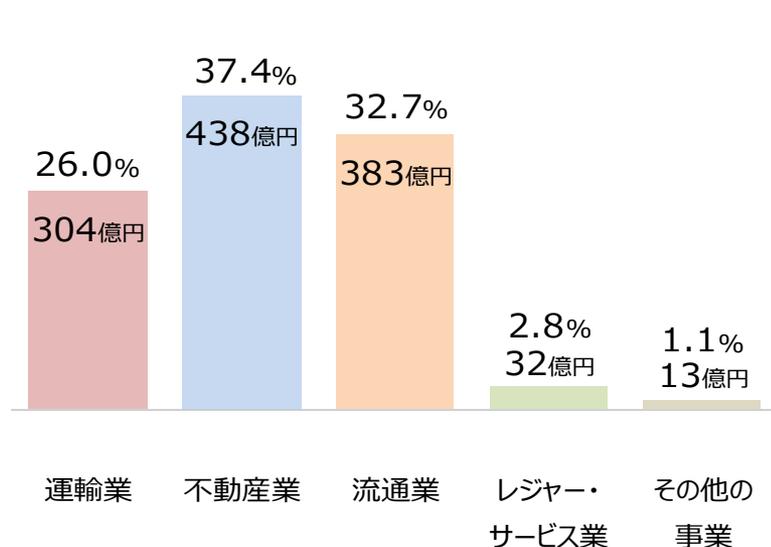


セグメント情報（構成）

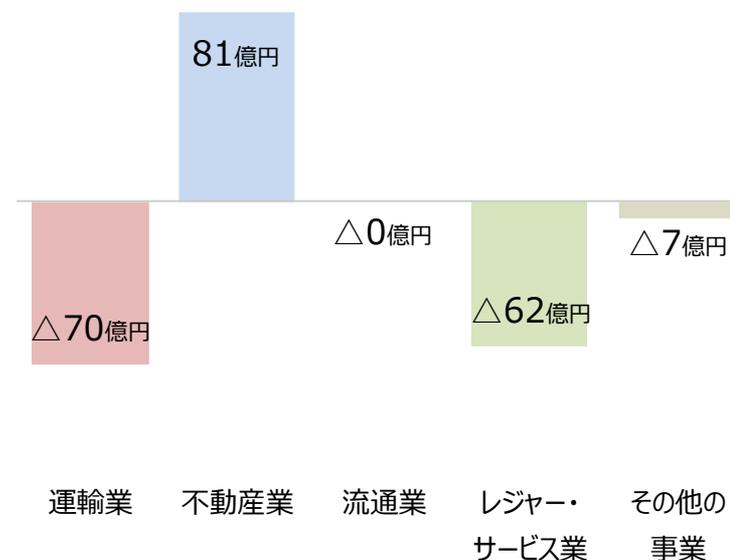
【連結対象会社】42社（対前年同期 1社増）【持分法適用会社】2社（対前年同期 増減なし）

運 輸 業	京阪電気鉄道、京福電気鉄道、京阪バス 他12社
不 動 産 業	京阪ホールディングス、京阪電鉄不動産、ゼロ・コーポレーション、京阪建物 他8社
流 通 業	京阪百貨店、京阪ザ・ストア、京阪流通システムズ、バイオ・マーケット 他1社
レジャー・サービス業	ホテル京阪、京阪ホテルズ&リゾート、琵琶湖汽船 他5社
その他の事業	ビオスタイル、京阪カード

<セグメント別営業収益>



<セグメント別営業利益>



(注)セグメント数値は、セグメント間取引消去を含む金額であります。%は各セグメントの構成比を表しております。

セグメント情報（運輸業）

(単位：百万円)

	2021/3 2Q実績	2020/3 2Q実績	増減額	増減率
営業収益	30,497	48,709	△18,212	△37.4%
鉄道事業	25,996	39,416	△13,419	△34.0%
バス事業	8,608	14,193	△5,585	△39.4%
消去	△4,107	△4,900	793	—
営業利益	△7,010	8,141	△15,152	—
鉄道事業	△4,770	6,661	△11,432	—
バス事業	△2,243	1,470	△3,713	—
消去	3	10	△6	—

(主な増減要因)

- 鉄道事業は、新型コロナウイルスの影響による旅客数減少の影響が大きく、減収・減益。
- バス事業は、新型コロナウイルスの影響による乗合収入や定期観光収入の減少などにより、減収・減益。

	2021/3 2Q実績	2020/3 2Q実績	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
旅客収入	16,620	26,710	△10,089	△37.8
定期外	9,616	17,913	△8,297	△46.3
定期	7,004	8,796	△1,791	△20.4
	千人	千人	千人	%
旅客数	99,732	152,834	△53,102	△34.7
定期外	40,649	76,093	△35,444	△46.6
定期	59,082	76,740	△17,658	△23.0

旅客収入の推移（百万円）



（定期外旅客収入の主な増減要因）

- 新型コロナウイルスの影響△8,266百万円

（定期旅客収入の主な増減要因）

- 通勤定期の減少△970百万円
- 通学定期の減少△632百万円

セグメント情報（不動産業）

(単位：百万円)

	2021/3 2Q実績	2020/3 2Q実績	増減額	増減率
営業収益	43,880	58,663	△14,782	△25.2%
不動産事業	36,336	51,124	△14,788	△28.9%
不動産販売業	22,429	37,515	△15,086	△40.2%
不動産賃貸業	12,061	11,793	268	2.3%
その他	1,845	1,815	29	1.6%
建設事業	10,150	10,626	△476	△4.5%
消去	△2,606	△3,088	481	—
営業利益	8,190	10,248	△2,057	△20.1%
不動産事業	8,135	10,133	△1,998	△19.7%
不動産販売業	2,277	4,356	△2,078	△47.7%
不動産賃貸業	5,632	5,555	77	1.4%
その他	224	221	3	1.5%
建設事業	△60	181	△241	—
消去	116	△66	182	—

(主な増減要因)

- 不動産販売業は、前年同期の「ザ・京都レジデンス御所東」などのマンション販売の反動減により、減収・減益。
- 不動産賃貸業は、前期に取得した物件の通期寄与などにより、増収・増益。

セグメント情報（流通業）

(単位：百万円)

	2021/3 2Q実績	2020/3 2Q実績	増減額	増減率
営業収益	38,360	48,195	△9,834	△20.4%
百貨店業	18,858	24,201	△5,342	△22.1%
ストア業	12,447	14,954	△2,507	△16.8%
ショッピングモールの経営	5,664	7,357	△1,693	△23.0%
その他	3,179	3,935	△755	△19.2%
消去	△1,789	△2,253	464	—
営業利益	△24	1,579	△1,603	—
百貨店業	△326	138	△465	—
ストア業	139	292	△153	△52.5%
ショッピングモールの経営	345	1,019	△674	△66.2%
その他	△189	120	△309	—
消去	7	7	△0	—

(主な増減要因)

- 百貨店業は、新型コロナウイルスの影響による各店舗の一部休業などにより、減収・減益。
- ストア業は、新型コロナウイルスの影響により駅近・空港内の商業施設が苦戦し、減収・減益。
- ショッピングモールの経営は、新型コロナウイルスの影響による「KUZUHA MALL」の休業などにより、減収・減益。

セグメント情報（レジャー・サービス業）

(単位：百万円)

	2021/3 2Q実績	2020/3 2Q実績	増減額	増減率
営業収益	3,290	17,960	△14,669	△81.7%
ホテル事業	2,423	15,838	△13,414	△84.7%
レジャー事業	880	2,136	△1,256	△58.8%
消去	△12	△14	1	—
営業利益	△6,222	1,788	△8,010	—
ホテル事業	△5,848	1,576	△7,425	—
レジャー事業	△381	202	△584	—
消去	8	9	△0	—

《ホテル稼働率 内訳》

	2021/3 2Q実績	2020/3 2Q実績	増減
ホテル京阪	17.4%	93.0%	△75.6pt
京阪ホテルズ & リゾーツ	16.1%	86.8%	△70.7pt

(主な増減要因)

- ・ ホテル事業は、新型コロナウイルスの影響による各店舗の休業や営業規模の縮小などにより、減収・減益。
- ・ レジャー事業は、新型コロナウイルスの影響による運休・休業などにより、減収・減益。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2021/3 2Q実績	2020/3 実績	増減額	増減要因
流動資産	206,473	177,016	29,457	現金及び預金+20,340、 販売土地及び建物+6,448
固定資産	557,388	555,808	1,580	
資産合計	763,862	732,824	31,037	
流動負債	172,733	167,695	5,037	1年以内償還予定の社債+9,970
固定負債	346,321	311,069	35,252	社債+20,000、長期借入金+13,830
負債合計	519,055	478,765	40,290	
純資産	244,806	254,058	△9,252	利益剰余金△8,196 ※自己資本比率31.5% (△2.6pt)
負債純資産合計	763,862	732,824	31,037	
有利子負債	370,615	327,132	43,482	社債+29,970、借入金+21,511

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2021/3 2Q実績	2020/3 2Q実績	増減額	増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	△8,487	28,197	△36,685	税金等調整前四半期純利益△27,261、 売上債権の増加△11,181
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,110	△12,379	268	
財務活動によるキャッシュ・フロー	40,938	△20,187	61,125	社債発行による収入+29,843、 長期借入れによる収入+13,620、 社債償還による支出+10,003
現金及び現金同等物の増減額	20,340	△4,368	24,708	
現金及び現金同等物の期首残高	14,911	21,377	△6,466	
現金及び現金同等物の期末残高	35,251	17,009	18,242	

2021年3月期 業績予想

2021年3月期業績予想については、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社グループの業績に与える影響について合理的な算定が困難であったことから未定としておりましたが、第2四半期までの業績動向等を踏まえ、現時点において入手可能な情報をもとに業績予想を公表することといたしました。

《業績予想算定の前提条件》

【全事業共通の前提条件】

- 国内の経済活動は、本年4月～5月の状況を底として、徐々に回復する
- 感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発令や休業要請、大規模な外出制限は行われない
- インバウンド需要については、当期中の回復がないものとする

【各事業における主な前提条件】

- | | |
|------------|--|
| 運輸業 | <ul style="list-style-type: none">■ 京阪電気鉄道の旅客収入のうち、定期外収入は2021年3月に対平年度△20%程度まで回復し、定期収入は下期の間、対平年度△15%程度で推移■ バス事業の一般路線収入は、2021年3月に対平年度△10%程度まで回復 |
| 不動産業 | <ul style="list-style-type: none">■ 不動産販売業及び不動産賃貸業では、新型コロナウイルスの影響は軽微 |
| 流通業 | <ul style="list-style-type: none">■ 百貨店業では、下期の間、対平年度△10%程度で推移 |
| レジャー・サービス業 | <ul style="list-style-type: none">■ ホテル事業では、2021年3月に客室稼働率が40～50%程度まで回復 |

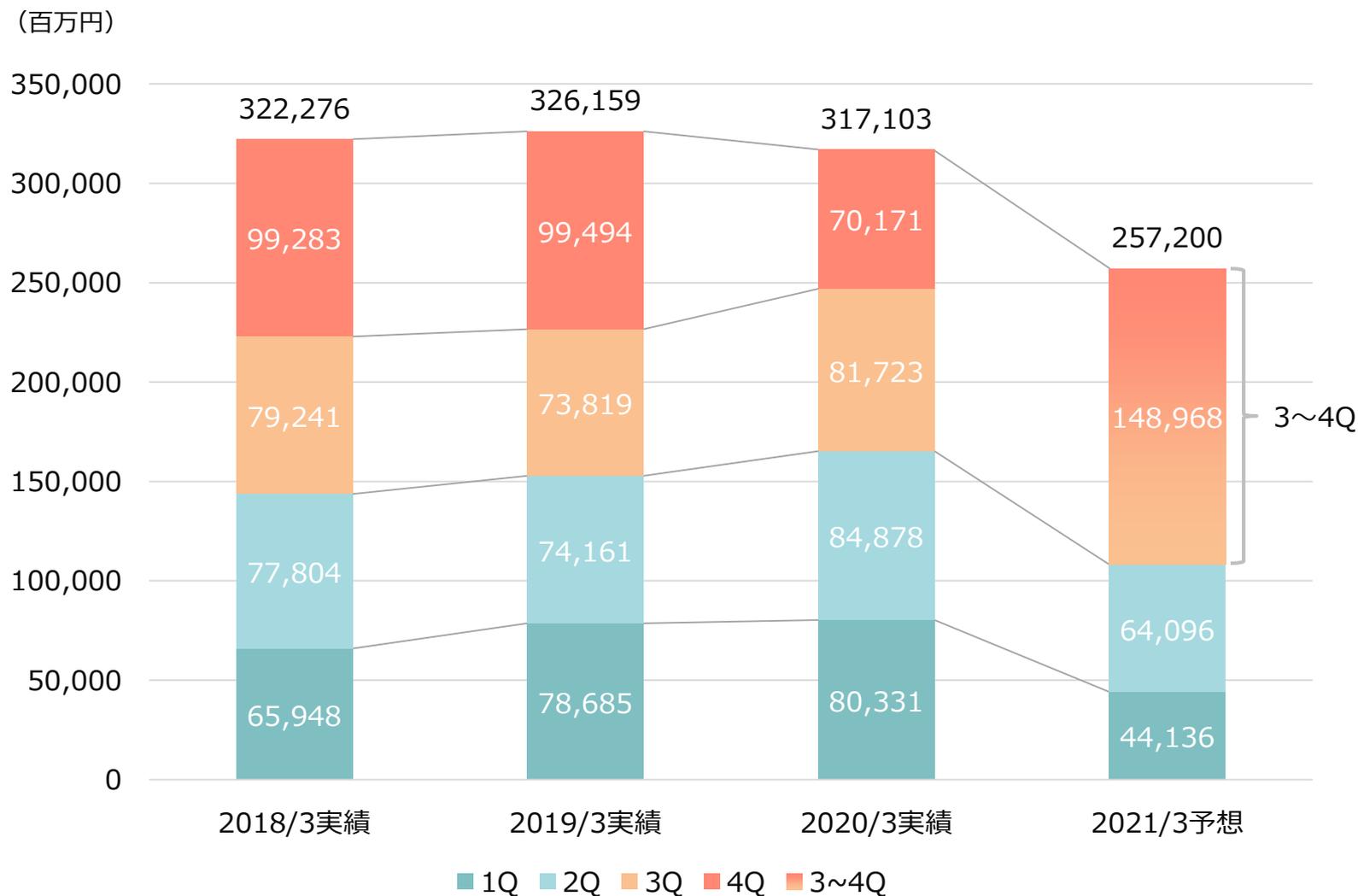
連結損益計算書（業績予想）

- 運輸業、流通業、レジャー・サービス業における新型コロナウイルス感染症の拡大により大きく減収となり、人件費や修繕費など営業費の削減に取り組むものの、各段階の利益も大幅な悪化となる見込み。

(単位：百万円)

	2021/3 通期予想	2020/3 通期実績	増減額	増減率
営業収益	257,200	317,103	△59,903	△18.9%
営業利益	△1,300	31,123	△32,423	—
経常利益	△600	29,886	△30,486	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△3,400	20,121	△23,521	—
設備投資額	35,400	29,324	6,075	20.7%
減価償却費	21,400	20,784	615	3.0%
EBITDA	20,100	51,908	△31,808	△61.2%
有利子負債	356,000	327,132	28,867	8.8%
有利子負債EBITDA倍率(倍)	17.71	6.30	11.41	—
ネット有利子負債 EBITDA倍率(倍)	16.87	6.01	10.85	—
受取利息及び配当金	596	1,000	△403	△40.4%
支払利息	2,081	2,189	△107	△4.9%
金融収支	△1,484	△1,188	△295	—

連結営業収益の推移



セグメント情報（業績予想）

（主な増減要因）

- 運輸業：新型コロナウイルスの影響による外出自粛
- 不動産業：戸建販売の好調、前期に取得した賃貸物件の通期寄与
- 流通業：新型コロナウイルスの影響による休業等
- レジャー・サービス業：新型コロナウイルスの影響による休業や営業規模の縮小等

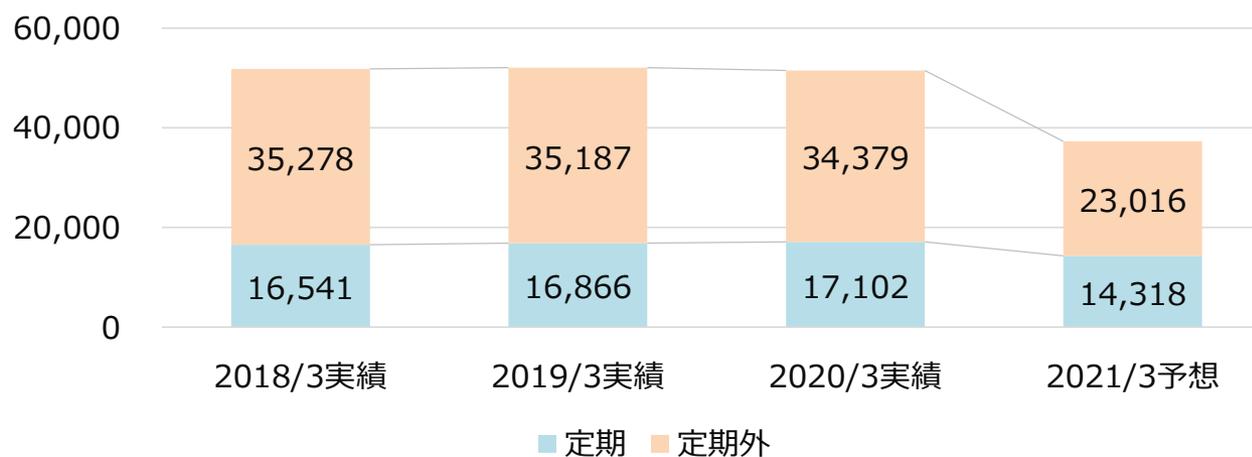
（単位：百万円）

		2021/3 通期予想	2020/3 通期実績	増減額
運 輸 業	営業収益	69,200	93,365	△24,165
	営業利益	△7,600	10,862	△18,462
不 動 産 業	営業収益	109,000	110,228	△1,228
	営業利益	17,600	16,906	693
流 通 業	営業収益	85,000	98,186	△13,186
	営業利益	1,300	3,258	△1,958
レジャー・サービス業	営業収益	10,000	32,081	△22,081
	営業利益	△11,500	1,336	△12,836
その他の事業	営業収益	3,100	2,908	191
	営業利益	△1,500	△921	△578
全 社 ・ 消 去	営業収益	△19,100	△19,667	567
	営業利益	400	△319	719

運輸成績（業績予想） 京阪電気鉄道

	2021/3 通期予想	2020/3 通期実績	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
旅客収入	37,334	51,481	△14,147	△27.5
定期外	23,016	34,379	△11,362	△33.1
定期	14,318	17,102	△2,784	△16.3
	千人	千人	千人	%
旅客数	218,746	293,104	△74,358	△25.4
定期外	97,232	145,643	△48,411	△33.2
定期	121,514	147,461	△25,947	△17.6

旅客収入の推移（百万円）



セグメント別設備投資（業績予想）

（単位：百万円）

	2021/3 通期予想	2020/3 通期実績	増減額
設 備 投 資	35,400	29,324	6,075
運 輸 業	12,500	13,283	△783
不 動 産 業	11,400	11,824	△424
流 通 業	700	1,073	△373
レジャー・サービス業	2,400	1,933	466
そ の 他 の 事 業	200	862	△662
全 社 ・ 消 去	8,200	348	7,851

セグメント別EBITDA (業績予想)

(単位：百万円)

	2021/3 通期予想	2020/3 通期実績	増減額
E B I T D A	20,100	51,908	△31,808
運 輸 業	4,100	22,597	△18,497
不 動 産 業	24,000	22,893	1,106
流 通 業	2,600	4,513	△1,913
レジャー・サービス業	△10,000	2,775	△12,775
そ の 他 の 事 業	△1,300	△807	△492
全 社 ・ 消 去	700	△64	764

費用削減

- 当期に、135億円の営業費削減を実施

主な勘定	主な内容	2021/3 目標数値	2021/3 2Q実績
人件費	役員報酬の減額、一時帰休の実施による削減	135億円	59億円
修繕費	設備投資関連工事の減		
広告宣伝費	ポスター掲出等の削減		
動力費・燃料費	使用量の減		
その他の営業費	業務委託費等の削減		

投資抑制

- 当期に、当初の社内計画と比較して97億円（21.5%）の投資を抑制

	2021/3 通期予想	2021/3 当初計画	抑制額	抑制率
設備投資	354億円	451億円	97億円	21.5%

手元流動性の確保

- 2020年9月に社債発行により300億円の調達を実施し、手元資金を厚く確保
- 機動的な資金調達に備え、金融機関の融資枠及び短期社債の発行限度額を拡大

配当方針

安定配当の継続

- 積極的な投資により、持続的な成長、企業価値向上をめざすとともに、成果に応じた株主還元を持続的に実施するため、自己資本の水準及び業績を勘案しつつ、安定的な利益配分を継続する

2021年3月期 配当予想の修正

- 新型コロナウイルス感染症拡大により、運輸業やレジャー・サービス業、流通業などにおいて甚大な影響を受け、2021年3月期（通期）は最終赤字となる見通し
- 当期の業績及び財政状態等を考慮しつつ、安定的な利益配当を継続する方針を踏まえ、**期末配当予想を1株あたり25円とする**



京阪ホールディングス株式会社

経営統括室経理部

TEL 06-6944-2527

FAX 06-6944-2562